

二本松市

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業計画

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業等

令和元年5月時点

(単位:千円)

No.	事業番号 (注2)	事業名 (注3)	地区名 (注4)		総交付対象 事業費 (注5)	各年度の交付対象事業費 (注6)					全体事業費 (注7)	全体事業 期間 (注8)	備考(注9)
						平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
1	A - 1 - 1	道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業	H30:大平地区、下川崎地区、小浜(1)地区、旭(1)地区、太田・針道地区、木幡北地区 H31:二本松地区、上長折・西勝田西部・西勝田東部・成田地区、杉沢・初森地区、西新殿・東新殿・上太田地区、田沢・百目木地区、戸沢地区	前回まで 今回 計	(198,535) 170,344 <368,879>			(52,729)	(145,806) 170,344		368,879	30 ~ 元	
2	◆ A - 1 - 1 - 1	関連側溝堆積物撤去・処理支援事業	H30:大平地区、下川崎地区、小浜(1)地区、旭(1)地区、太田・針道地区、木幡北地区 H31:二本松地区、上長折・西勝田西部・西勝田東部・成田地区、杉沢・初森地区、西新殿・東新殿・上太田地区、田沢・百目木地区、戸沢地区	前回まで 今回 計	(38,707) 34,068 <73,775>	<0>	(0)	(10,546)	(29,161) 34,068		73,775	30 ~ 元	
3				前回まで 今回 計	(0) 0 <0>	<0>	<0>	<0>	<0>			~	
4				前回まで 今回 計	(0) 0 <0>	<0>	<0>	<0>	<0>			~	
5				前回まで 今回 計	(0) 0 <0>	<0>	<0>	<0>	<0>			~	
6				前回まで 今回 計	(0) 0 <0>	<0>	<0>	<0>	<0>			~	
7				前回まで 今回 計	(0) 0 <0>	<0>	<0>	<0>	<0>			~	
8				前回まで 今回 計	(0) 0 <0>	<0>	<0>	<0>	<0>			~	
9				前回まで 今回 計	(0) 0 <0>	<0>	<0>	<0>	<0>			~	
10				前回まで 今回 計	(0) 0 <0>	<0>	<0>	<0>	<0>			~	
				合計	(238,242) 204,412 <442,654>	(0)	(0)	(63,275)	(174,967) 204,412	(0)	442,654		
				(うち 効果 促進 事業)	(38,707) 34,068 <73,775>	(0)	(0)	(10,546)	(29,161) 34,068	(0)	73,775		

都道府県名	福島県	担当部局名	建設部土木課	担当者氏名	遠藤 広次
市町村名	二本松市	電話番号	0243-55-5125	メールアドレス	iji@city.nihonmatsu.lg.jp

(注1)ピンクの欄が記入欄。その他の欄は自動計算される。

(注2)「事業番号」は、基幹事業については、「(実施要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注3)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注4)「地区名」には、1の事業ごとに複数の地区を対象として構わない。

(注5)「総交付対象事業費」、「各年度の交付対象事業費」欄の上段()書きは、前回までに配分された額等を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。また、「総交付対象事業費」は各年度の交付決定額及び今回申請額の和となる。

(注6)「各年度の交付対象事業費」欄の計数は、様式1-4の「交付対象事業費(b)」欄と必ず一致させること。

(注7)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。なお、事業間流用を行った場合は必ず流用後の全体事業費を記載する。

(注8)「全体事業期間」は、平成32年度までの事業期間を記載する。

(注9)事業間流用を行った場合には、事業間流用を行った旨、その時期及び額並びに流用する(流用される)事業名も併せて記載する。